

小さなトンボ王国で 観察できるトンボたち



ハラビロトンボ (トンボ科) オス



ハラビロトンボ (トンボ科) メス



アジアイトンボ (イトトンボ科) オス



シオカラトンボ (トンボ科) オス



シオヤトンボ (トンボ科) オス



キイトンボ (イトトンボ科) オス



キイトンボ (イトトンボ科) の交尾



オオシオカラトンボ (トンボ科) オス



オオシオカラトンボ (トンボ科) メス



クロスジギンヤンマ (ヤンマ科) の羽化

周辺 MAP



交通アクセス

住所：鳥取県日野郡日野町中菅 464-19

※「滝山公園」
駐車場から日南
町方面に歩いて
約2分。

駐車場・トイレ
は滝山公園駐車
場をご利用ください。



この看板が目印！

■自動車でお越しの場合

米子自動車道江府 IC から自動車約 25 分

■電車でお越しの場合

J R 伯備線黒坂駅から徒歩約 30 分

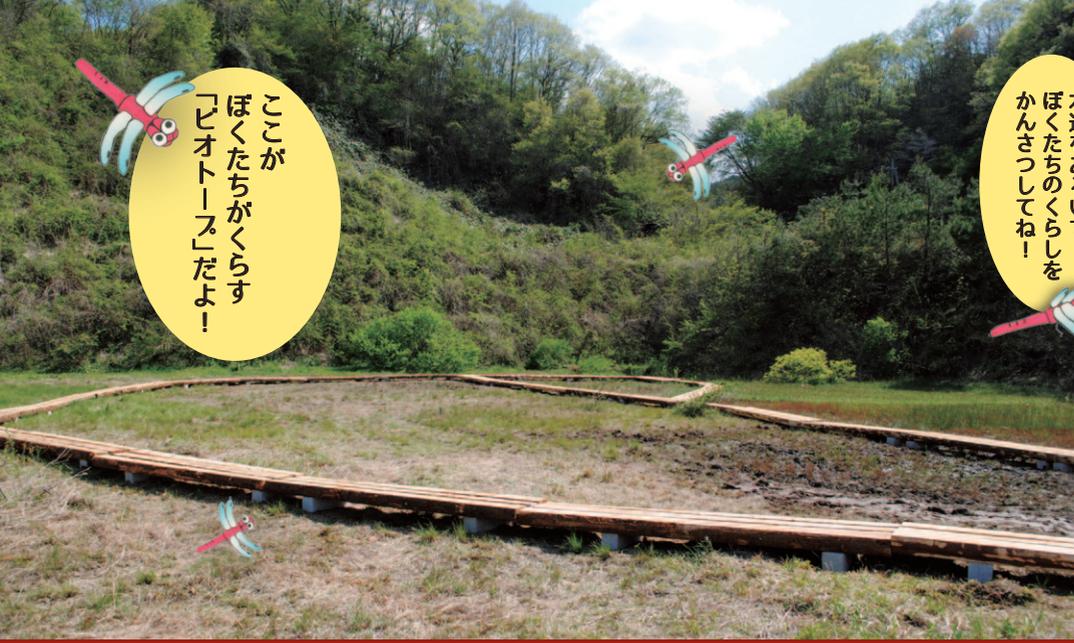
ようこそ！ 小さなトンボ王国



ハッチョウトンボ (トンボ科) オス

世界最小のトンボ
「ハッチョウトンボ」を
ご存じですか？
体長約2センチ、
一円玉に体が納まるほどの
小さな小さなトンボです。
鳥取県日野町の滝山公園には、
ハッチョウトンボをはじめ、
多くのトンボの仲間が暮らす
ビオトープがあります。
名付けて「小さなトンボ王国」。
小さくても元気に生きる
トンボたちの暮らしを
観察してみましよう！

小さなトンボ王国 (ビオトープ) をつくる会



ここが
ほくたちがくらす
「ピオトープ」だよ！



木道があるいて、
ほくたちのくらしを
かんさつしてね！



ベンチでひとやすみ。
おべんとうをたべても
たのしいよ！

ハッチョウトンボからのお願い

- 1 木道があるいてください
- 2 つかまえないでください
- 3 しずかにかんさつしてください



成熟したハッチョウトンボのオス



成熟したハッチョウトンボのメス

ハッチョウトンボ

トンボ目トンボ科
学名：Nannophya pygmaea
ハッチョウトンボの体長は、約2cmほど。日本のトンボでは最小で、世界でも1番小さいトンボの1つです（1円玉の中に体が収まるほどの大きさです）。

あまりにも小さいので、飛んでいるとアブかハエのようにも見えます。

オスは羽化したてのときはだいたい色ですが、成熟すると鮮やかな赤色になります。メスは、成熟すると黄色と黒の模様がはっきりとしてきます。

～トンボ王国の四季～

春



写真①：背中が割れてトンボの体があらわれる



写真②：翅（はね）を伸ばし、乾かす

滝山公園の湿地ピオトープでは、5月中旬頃から羽化が始まります。
写真①：ヤゴは水から出て、小さな草に登って羽化を始めます。
背中の殻が割れて白いトンボの体があらわれます。
写真②：殻から体を脱いでふらさがり、縮んでいた翅（はね）を伸ばし、乾かします。



なわばりを張るハッチョウトンボのオス



交尾をするハッチョウトンボ

初夏

ハッチョウトンボは、次々に羽化し、6月中旬から下旬にかけて最も数が多くなります。
成熟したハッチョウトンボのオスは、気温が上がるとう水辺に飛んでいき、草にとまりなわばりを張ります。
その後、なわばりに入ってくるメスを待って交尾をします。
メスはその後、浅い水辺で産卵します。



晩秋の湿地ピオトープの様子とアキアカネ

秋

9月には、ハッチョウトンボの季節は終わりを告げます。アキアカネなど秋のトンボたちが活発に飛び回ります。

冬



雪に覆われたピオトープでは、ヤゴが越冬しています

冬が訪れると、水の中ではヤゴが育っています。
ハッチョウトンボのヤゴは6mmほどの大きさです。水中で冬を越します。